

4月、新しい季節の始まりですね。

先生、この2年、本当にありがとうございました。

中学卒業と支援卒業の日を迎えられ嬉しく思います。

支援当初には想像も出来なかった平和な毎日を過ごしています。

私の場合 何の前ぶれもなく、突然、不登校が始まったわけ

ではなく、「ん？ ちょっと違うかも」「このままでいいのかな？」

と思うようなことが保育園児の頃からあり、その度に育て方や

自分を振り返り対処してきたつもりでした。

小学校に入りしばらくして、学校に遅れて行くようになりましたが、

それでも学校を休むわけではないし、学校の先生からも「いいところを

認めて様子をみましょう」と言われ、甘えを受け止めることや、子供や

私が自己尊重感をもてるような本を読んだりしていました。

「無理～出来ない」発言も多く、苦手な授業や

行事からは逃げることも多かったですが、

Hope

Two Wings and Sky...
That's all we need to fly.

Hallmark

小学校卒業の頃には、皆勤だったりもしたので、色々悩んだけれど、帳尻は合った、よかったとホッとしていました。

ところが、中学に入り初めての定期テスト前頃から、だんだんあやしくなり、五月雨登校状態になり、朝の登校前の家での様子は荒れるばかり、あの手この手も尽き、もう自力では無理だと、そう思い先生のホームページにたどり着きました。

中1も終わろうとしている頃でした。


支援を受けることが決まてからは必死でした。たくさんのクライアントさんのお電話が全国からかかっているというのに、

一旦カウンセリングが始まれば、いつも落ち着いたお声で

先生がご多忙でも体調の悪い時でもどんな時でも、

その日、その日乗り越えるのに必要なアドバイスを

下さいました。その時、その時の私が出る



Hope

Two Wings and Sky...
That's all we need to fly.

Hallmark

最良の方法を示して、子供に対しても「まあ、そこは彼にも
逃げ道を作っておいてやって下さいね。」と、私のキャバを押し量り
ながらも、子供の気持ちへもちゃんと思いやる優しさもあるお言葉に
本当に尊敬をしていました。

最初は、自分がこう言えば、子供がどう言うか想像もできず、
子の反応についてやりとりの想像すらできず、着地点を考えて話す
ことなんて全然できませんでした。「こう子供が言ってきたら、
何と云えばいいのですか?」「そしたら、私はこう云えばいいですか?」
「でも、逆だったら、こう言わないといけないですよね?」... 先生の
OKが出る着地点にたどり着けるのか??? 言葉の最後の
ちょっとしたニュアンスで、子供に考えさせることにならぬか、子の所有
すべき問題とできるか、母の先回りになるのか、捉え方や

伝わり方が違ってくることを知り、必死で一言も

漏らさないよう、セルフをメモしていました。

また、ブレない対応を貫くのも緊張の連続でした。

Hope

Two Wings and Sky...
That's all we need to fly.

hallmark

家庭ノートと電話カウンセリングを繰り返すうちに、

「あ、先生なら、こう仰るだろうなあ」ということも少しずつ

わかるようになってきました。時には「でも…こう言っていました」と

失敗もありましたが、かえってそういう時は「そう気付けたんですから、

次に生かしましょう」とのお言葉に救われたこともありました。

家庭ノートは返ってくるまでドキドキでした。赤ペンのX箇所が

少なくなり、OKマークで返ってくると、ホッとて、またセッセと

書いて出し、前へと進むことができたように思います。

この2年でおかげ様で、子も親も、家庭も本当に変わりました。

母は家事の手を止め、嵐が過ぎるまで続くやりとりに

エネルギーを吸いとられることも、今はありません。子供のネガティブ

発言もいつの間にか少なくなり、色々な感情を口にできるよう

になりました。これは子の問題、母はお口チャックだね。

もし～でも、子が～すればいいことで、

Hope

Two Wings and Sky...
That's all we need to fly.

hallmark

〜と母は提えておけばいいな、と先回りをして、ムダに心配してマイナスの感情に振り回されることもありません。

(・・・しろうになっても提え直しができるようになりました😊)

我が家を把握して、我が家に合ったご指導をいただきました。

これは年相応のことなのか、自立につながるのか？をポイントに考えるようになりました。

父の立場、役割を 母の役割と分けることで、何かあった時、段階を経て指導も出来るし、心の余裕がもてるようになりました。

新学期が始まる季節は いつも不安の季節でしたが、今年の春は 子が自分で選んだ高校に、キラキラと朝日を浴びながら軽やかに自転車を走らせることのでき。

なーんて、なんだか文字にすると自信たっぷりですわ
本当は心細いし、とてもさびしいです。。

Hope

Two Wings and Sky...
That's all we need to fly.

hallmark

これからは、週に3回、不安を聞いていただくことが

出来なくなりますが、子供を、自分を信じてやっていこうと

思います。

こんな日を迎えられることができ、嬉しいです。

本当に 本当に ありがとうございます。

最後になりましたが、先生をはじめペアレンツキャンプの皆様

今後のご活躍をお祈りしています。



Two Wings and Sky...
That's all we need to fly.

Hallmark